

独立行政法人農業環境技術研究所 第3回契約監視委員会議事概要

1. 日時 平成23年10月27日(木) 13:30~17:15
2. 場所 農業環境技術研究所 来賓室
3. 出席者 委員:水谷委員長、今村委員、高橋委員、深谷委員
4. 議題

(1) 契約状況の点検、見直しについて

- ① 平成22年度下半期、23年度上半期に実施した競争性のない随意契約の審査
- ② 平成22年度下半期、23年度上半期に実施した入札の結果1者応札・1者応募となったものの審査
- ③ 平成22年度下半期、23年度上半期に実施した物品調達における複数者の参加による一般競争入札の結果、落札率が90%以上となったものの審査

(2) その他

5. 議事概要

(1) 契約状況の点検、見直しについて

平成21年度、平成22年度における契約状況のフォローアップ、コンソーシアム方式導入による研究プロジェクト委託業務契約(再委託)及び前回の意見への対応状況について説明を行い、平成22年度下半期及び平成23年度上半期の契約について審議を行った。各委員からの主な意見は次のとおり。

① 22年度下半期、23年度上半期に実施した競争性のない随意契約の審査

- 研究業務委託契約(再委託)について、コンソーシアム方式への移行後も引き続き共同研究機関の決定プロセス、更に履行能力について明確な説明が出来るようにしておくことが重要である。
- 電話の役務契約について、相手先がそこしかないとは言えないのではないか。随意契約の理由として疑問が残る。

② 22年度下半期、23年度上半期に実施した入札の結果1者応札・1者応募となったものの審査

- 応札しなかった者へのアンケート調査について提出されなかった場合、特に高額機器の場合には電話聞き取りなどにより応札しない理由を確認願いたい。
- 会計システム再構築業務契約について、受託者の条件である「独立行政法人において財務会計システムの導入実績を有すること。」については、競争性が損なわれる懸念がある。

③ 平成22年度下半期、23年度上半期に実施した物品調達における複数者の参加による一般競争入札の結果、落札率が90%以上となったものの審査

特になし

(2) その他

随意契約見直し計画の達成に向けた取り組みについて、RSSの導入と利用状況、アンケートで寄せられた意見の概要等について説明し、委員から次の意見があった。

- アンケートでの要望を踏まえ、仕様書をWEB上で取得できるように検討願いたい。

以上